			1	
2017 年 発生 月	時	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2		出勤時に工場到着後車から降りて工場へ向かう途中で滑って転倒した。 転倒場所は 負傷者本人が駐車した右後ろ部分、当時直径1m位の広さが凍結していた。 (雪解け 氷が凍結した状態)	59	10 ~ 29
5		作業場へ向かうため、他の作業員と廊下を歩いていたところ、置いてあったフォーク リフトパレット(横110cm×縦110cm×高さ15cm)に気付かず、足をぶつけ転倒して しまった。 身体を支えようと咄嗟に右手を出したが、床に強く打ちつけ負傷した。	45	100 ~ 299
7	8 ~ 9	金型工場内において、金型を台車にのせて移動中、台車を手前に引きながら緩やかなスロープを下っていたとき、スロープの終わりに床のつなぎ目があり、亀裂や凹みがあったため車輪がはまった。 はまった車輪を外そうとし、持ち手を引っ張った際、台車の前面が浮き上がり、バランスを崩して転倒した。 その際に金型が落下し、右足の甲より先を負傷した。	64	100 ~ 299
7	~	敷地内製品倉庫の左側シャッターの前で、製品をトラックに積み込む作業をしていた。 後ずさりしたとき、後方にあったハンドリフトの金属部分に足をとられ、後ろ向きに倒れて地面に左手をついて手首を負傷した。	52	50 ~ 99
10	~	検査作業現場にて、廃棄物の分別を行っていた際、納品があり受取確認に向かう途中、疲労軽減用マットに躓き転倒した。 転倒した際に左肘で着地したため、衝撃により、左肘関節脱臼骨折の怪我を負った。	57	100 ~ 299
11	2 ~ 3	エッチング投入室内で、製品が正常に流れているか確認するため、同室内を歩行(小 走り)していたところ、足を滑らせ転倒したものである。	27	100 ~ 299

出典:<u>https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx</u>(職場のあんぜんサイト)

Return to: https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206 09.html